

新庁舎整備に向けた 「基本理念・基本方針」の検討

令和4年11月22日（火）
魚津市新庁舎整備検討委員会

魚津市新庁舎整備に向けた基本理念(案)

新庁舎整備のもっとも根本的な考え、中心となる方向性を示すものとして、「**基本理念**」を置きます。

皆様のご意見をお聞かせください

魚津市新庁舎整備

基本理念

(案)



基本方針(案)

(A案)

市民の安心・安全を支え、人と環境にやさしく、
本市への誇りと愛着を育む庁舎

(B案)

新しい時代に応える 安心とふれあいの拠点

(C案)

人にやさしい 地球にやさしい 未来にやさしい
やさしさあふれる庁舎

① 一人ひとりが利用しやすく、親しみやすい、開かれた庁舎

② 災害に強く市民の安心・安全を守る庁舎

③ デジタル化に対応した機能的・効率的でコンパクトな庁舎

④ ゼロカーボンシティに向けた取組を実践する環境にやさしい庁舎

魚津市新庁舎整備に向けた基本方針(案)

1



一人ひとりが利用しやすく、親しみやすい、開かれた庁舎



委員の意見

(第1回魚津市新庁舎整備検討委員会より、以下同じ)

- 市庁舎は規模の大小は別にして**大きなシンボル**といえる。個性的なものや近代建築である必要も場合によってはないかもしれないが、**シンボルとしてより愛される意匠・デザイン**を明確に検討いただきたい。
- **市民にとって親しみやすい市役所**が一番だと思う。市役所はシンボルであり市民を中心とした施設になってもらいたい。
- 市民に親しまれる庁舎にしなければならないことは当然と思う。
- **市民に開かれた庁舎**であればよいと思う。
- **近隣施設などの民間と連携**してWin-Winの関係を持てたらよいと思う



主な検討事項

市のシンボルとなる庁舎デザイン
オープンで分かりやすいレイアウト、総合案内
バリアフリー、ユニバーサルデザイン化
市産材の利活用、市民協働・交流スペース
若者が立ち寄れる場所の提供
施設の複合化 など

先進地の例



上段：射水市庁舎及び黒部市庁舎

近年は開放感のある吹抜けやオープンフロアが主流となっている

下段：地元産木材をふんだんに使用した新潟県魚沼市庁舎

埋没林

蜃気楼

たてもん

蝶六

魚津のシンボル
魚津らしさ



?

魚津市新庁舎整備に向けた基本方針(案)

2



災害に強く市民の安心・安全を守る庁舎



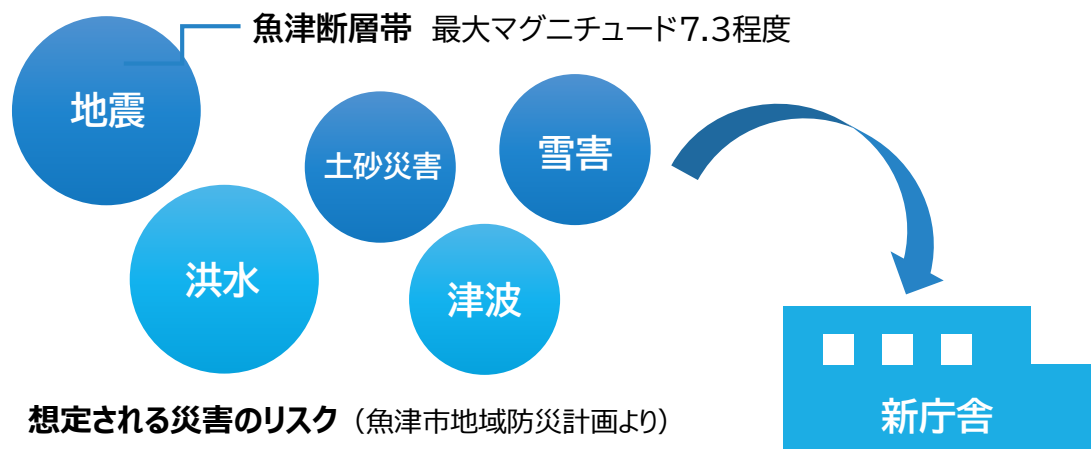
委員の意見

- 現在の庁舎は防災に関しては弱い。**防災拠点となり、市民が少しでも安心できる庁舎**にしてほしい。
- **空間を調整できる機能**があると今後よりよいものになると思う。例えば非常事態災害時に一定の場所を区切ってフェーズフリーにすれば、緊急の場所として空間を生み出すことができる。



主な検討事項

防災対策拠点としての本部機能
非常事態への対応
非常時にも対応できる可変的な設計
物資・資機材等の備蓄スペース、耐震構造 など



先進地の例

(左) (中) 射水市庁舎

耐震構造よりさらに強度な「免震構造」、浸水を防止する止水板を整備

(右) 黒部市庁舎

市長室、副市長室に隣接して災害対策本部用の会議室を配置⁴



魚津市新庁舎整備に向けた基本方針(案)

3



デジタル化に対応した機能的・効率的でコンパクトな庁舎



委員の意見

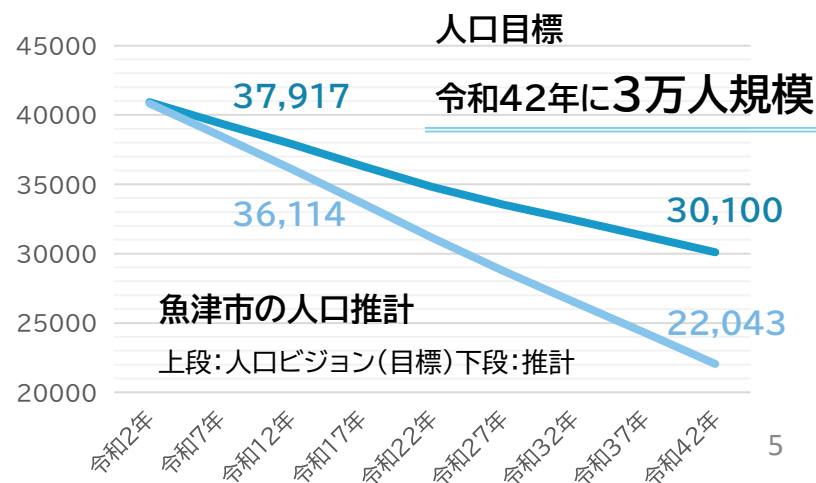
- 働き方が変わってきており、**テレワーク**を推奨する分事務所を小さくする例や、**フリーアドレス化**、**ペーパーレス化**も進んでいる。
- 市民サービスが変わっていくのも含めて **IT化・デジタル化**を検討してほしい。
- 市役所に入ったときの圧迫感。よく見ると、どうやら紙が多い。これでは災害時に情報が失われるのではないか。業務効率化のためにもできる限り**データ化**すればよいと思う。
- 10年後働き方がどう変わっているか分からない中で、もっと施設の規模を縮小すべきではないか。人口減少は止められないので、**10年後を見越してサイズダウンした施設**を建てるべきではないか。
- 時代を考慮し **ゼロベースで機能、職員数、スペースの検討**をお願いしたい。
- **新しい働き方を踏まえたコンパクトな庁舎**にしていきたい。例えば、立派な建物を建てたが市町村合併などで使用しなくなるのは無駄である。コンパクトなものにして中身を充実していただきたい



主な検討事項

参考* R4正職員数: 326名

スマート窓口、オンライン手続き フリーアドレス テレワーク対応
ネットワーク環境の整備 入退室のセキュリティ管理、職員数に応じた
適正な庁舎規模、建設・維持管理・修繕コストの削減 横断連携を意
識した機能的なレイアウト、各庁舎の統合 など



魚津市新庁舎整備に向けた基本方針(案)

4



ゼロカーボンシティに向けた取組を実践する環境にやさしい庁舎



委員の意見

- **SDGs**の観点から、50年100年で使用不可能になるような建物を建てないでほしい。そのためにはシンプルでメンテナンスがしやすい建物が必要。また、省エネと空調も大事な要素と思っている。



主な検討事項

ペーパーレス化

ZEB化

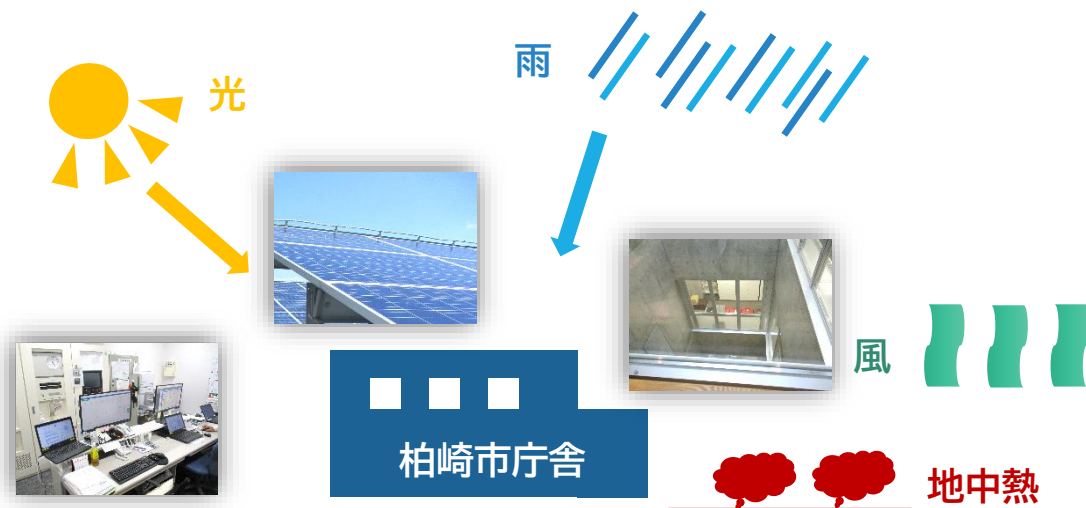
省エネの取り組み

太陽光発電などの創エネ設備

エネルギー管理システムの導入 など

ZEBとは？

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル
の略称で、エネルギー消費量が正味ゼロとなる施設。エネルギー消費量を削減する「省エネ」及びエネルギーを生み出す「創エネ」の両輪により達成される。



先進地の例：新潟県柏崎市庁舎

再生可能エネルギーを活用した庁舎。太陽光発電、トイレ洗浄水への雨水利用、エコボイド（上昇気流を利用した自然換気システム）、地中熱を利用した融雪システムなどを整備。空調、エネルギー管理には集中管理システムを導入

県内他市町の基本理念・基本方針との比較

基本理念

魚津市基本理念（案）	黒部市	射水市	入善町
（A案）市民の安心・安全を支え、人と環境にやさしく、本市への誇りと愛着を育む庁舎 （B案）新しい時代に応える 安心とふれあいの拠点 （C案）人にやさしい 地球にやさしい 未来にやさしい やさしさあふれる庁舎	市民の参画と協働を推進し、黒部市発展の核となる庁舎	庁舎の統合が、将来にわたって健全な財政運営を継続していくための行財政改革の一環として行うものであることを踏まえつつ、効率的で質の高い市民サービスを柔軟かつ的確に提供することが可能となる施設とします。	町民の安全・安心を確保し、誰もが使いやすく機能的で、環境に配慮した庁舎

基本方針



区分	魚津市（案）	黒部市	射水市	入善町
①利用のしやすさ	①一人ひとりが利用しやすく、親しみやすい、開かれた庁舎	人にやさしく市民に親しまれる庁舎	市民が利用しやすく、開かれた庁舎	町民が利用しやすい庁舎
②災害対応	②災害に強く市民の安心・安全を守る庁舎	災害時への安全・安心を確保した庁舎	災害対策拠点として機能する庁舎	災害対応・防災拠点として機能する庁舎
③行政の効率性	③デジタル化に対応した機能的・効率的でコンパクトな庁舎	効率的で情報化に対応できる庁舎	無駄のないコンパクトな庁舎	効率的な行財政運営ができる機能的な庁舎
④環境への配慮	④ゼロカーボンシティに向けた取組を実践する環境にやさしい庁舎	環境に配慮した庁舎	環境に配慮した庁舎	維持管理がしやすく環境に配慮した庁舎
⑤その他		まちづくりの拠点にふさわしい庁舎	時代の進展に対応した庁舎	